



社会貢献活動

野村不動産グループは、地域社会と密接に関わる事業を展開しており、その地域の皆さまとの交流の場や、子どもたちへの教育・文化支援の場をつくるなど、事業特性を活かした、さまざまな社会貢献活動を行っています。

また、東日本大震災の被災地に対しても、地域住民やNPOの皆さまと協働しながら、復興支援に継続して取り組んでいます。

| | |
|-------------|----|
| 震災復興支援 | 62 |
| 青少年育成への取り組み | 63 |

CSR | 社会貢献活動

震災復興支援

被災地への寄付・寄贈、復興支援

■ 陸前高田中心市街地復興計画を進行中

ジオ・アカマツでは、東日本大震災による津波のため壊滅的な被害を受けた陸前高田市等から、まちなか再生計画の策定等の業務を受託し、行政・商工会・商業者・市民・都市再生機構と一体となって、市街地再生を推進しています。商業にかかる専門性を震災復興計画に最大限活用し、新たな中心市街地の形成にあたり、商業や公共機能をコンパクトに集約することで、復興はもとより、持続可能な新たなまちづくりモデルの形成に貢献しています。

■ 「定禅寺ストリートジャズフェスティバルin仙台」をサポート

野村不動産は、2015年8月、2日間にわたって開催された「定禅寺ストリートジャズフェスティバルin仙台」に協賛。「PROUD」のモデルルームの特設ステージでは8組のアーティストによるライブが行われました。このフェスティバルは1991年にスタートしたもので、市民ボランティアによって運営されています。フェスティバルには2日間で70万人以上が来場しました。



定禅寺ストリートジャズ
フェスティバル

■ 福島の子どものための保養キャンプに「かやぶきの里プロジェクト」のお米を寄贈

当社グループは、「かやぶきの里プロジェクト」で収穫したお米の一部を、福島の子どものための保養キャンプに寄贈しました。東日本大震災以降、福島県の子どもたちは、屋外で遊ぶことを長期間制限されてきました。このキャンプは、ボランティア団体「母ちゃんず」が、福島県在住の親子を神奈川県に招いて行うもので、自然の中で遊び、安全な食事をしてもらうことによって、心身の健康を回復してもらうことを目的として行われています。

■ 古本の寄付を通じて東北の子どもたちの教育を支援

当社グループでは、2012年より公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの協力の下、社員から募った古本の売却費用を、東北の子どもたちの学校外教育費のために寄付しています。

東日本大震災以降、被災地では、経済格差により教育機会や学力の格差が生まれる傾向が強くなっており、この活動は、子どもたちがより平等な教育と成長の機会を得られるようになることを目的としています。2016年7月現在、3,541冊の本が集まり、塾や習い事の費用として活用されています。

CSR | 社会貢献活動

青少年育成への取り組み

次世代育成に向けたプログラム・イベントの実施

「ショパンコンクール2015 入賞者ガラコンサート」に協賛

5年に一度開催される、世界的にも権威あるピアノ・コンクール「ショパン国際ピアノ・コンクール」の1位から6位までのすべての入賞者が出演した、「第17回ショパン国際ピアノコンクール2015入賞者ガラコンサート」に当社グループとして初めて協賛。

世界的なレベルの音楽にふれることで、子どもたちに夢や感動、そしてご家族に豊かな時間を提供するという思いのもと、当社グループのお客さまの中から、親子ペアでご招待させていただきました。会場となった東京芸術劇場大ホール（約2000席）は2日間にわたり満席となりました。



2016年1月に開催されたガラコンサート会場の様子

「国連難民支援キャンペーン」を支援、感謝状を授与

2015年10月・11月、野村不動産グループが運営・管理する商業施設「bono相模大野」「モリシア津田沼」において、国連UNHCR協会が実施する難民支援キャンペーンを支援。この取り組みは、支援者が毎月、国連UNHCR協会に寄付をすることで、難民のためのワクチンや居住用テントの購入費などに充てられるものです。場所提供などの協力に対し、同協会から感謝状が授与されました。



感謝状

かやぶきの里プロジェクト

野村不動産は、過疎化や少子高齢化が進む農村と都市生活者をつなぎ、都市部の子どもたちへの環境教育を行うことなどを目的として、筑波山麓において環境に優しい米づくりを行っています。当プロジェクトは、筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会、地元NPO法人、つくば市、筑波大学との産官民学共同プロジェクトで、米づくりには、野村不動産の社員とその家族、分譲マンション「プライド」の居住者、PMO（プレミアム・ミッドサイズ・オフィス）のテナント企業が参加しています。



かやぶきの里

■ キャリア大学「サマークラス」に参加

野村不動産は、青少年のキャリア形成をサポートすることを目的として、「キャリア大学」に参画しています。2014年度からは、キャリア大学が主催する「サマークラス」に参加しています。「サマークラス」では、大学1、2年生を対象に、「街づくり、幸せをつくる」をテーマにした不動産開発事業体感ゲーム、現場見学などのプログラムを実施しています。不動産業界の仕事、また社会人や働くという観点を学ぶことにより、学生が自身のキャリアを考えるきっかけを提供しています。

「キャリア大学」

NPO法人キャリアクルーズが主催する、大学生のキャリア形成をサポートする取り組み。趣旨に賛同する企業や省庁などが、それぞれの専門分野において教育講座を提供。

■ 小学校児童向け着衣水泳教室の開催

メガロスは、2010年より東京都八王子市内をはじめとする複数の地域の小学校児童を対象に、水難事故防止を目的とした「着衣水泳教室」を開催しています。2015年度は、約480名の児童が参加しました。

■ インターンシッププログラムの実施

野村不動産では、大学生・大学院生を対象に毎年インターンを受け入れています。2015年度は、秋、冬2回のプログラムを実施し、延べ113名の学生が参加しました。就業体験型のプログラムで、一人ひとりが各部署へ配属され、インストラクターがサポートしながら不動産業界の仕事について学んでもらいます。実際の営業訪問の同行や打ち合わせへの参加など、生の現場を体験する機会を提供しています。

2014年度は、夏、冬2回のプログラムを実施し、延べ114名の学生が参加しました。

プログラムの中では、建築を学ぶ学生のグループに「価値を社会へシェアする住まい」の課題で、実際に事業化予定のマンション計画についてプレゼンを実施してもらい、実務を体験する機会を提供しました。なお、野村不動産アーバンネットでも、インターンシッププログラムを実施しています。



インターンシッププログラム

■ 喘息児のための水泳指導を実施

メガロス千種店では、2014年度より名古屋市の依頼を受け、喘息児のための水泳指導を行っています。2015年は5日間実施し、34名の児童が水泳を体験しました。